

国労東日本電気協議会情報

2019.
11. 24
NO. 57

発行責任者 大角 浩
編集責任者 加藤英樹

第32回定期委員会 が開催される

東日本電気協議会は11月16日13時より、東京地本会議室において、第32回定期委員会を開催し、委員10名、役員12名が出席し、東日本本部から渡辺副委員長と中谷執行委員が出席して井上副議長の司会で開会しました。議長には上野支部電協の岡本氏が就任し、4月からネットワークと無線Gが統合になり地域別のグループになった。若手中心のグループになり必死である。工事グループはベテラン中心超勤が多い。宿直が導入されているが要員は増えていない。職場代表者選挙があり、投票方法について所長に東労組と一緒にWEB投票ではなく紙でやるよう要求した。選挙管理員会で投票方法を決めることになり、選挙監理委員の選挙を行い、国労1名・助役2名が当選した。助役2名はWEB投票、国労は紙を求めたが2対1で負けた。投票結果は社友会代表が当選したが、国労代表者は組合員より多

い投票があり、投票してくれた方は「国労の人に入れるのは当然、やる気のない人がやるべきではない」と言っていた。労基署に行き選挙方法について聞いてきたが、WEBでも問題ないが使用者が代表者を決めてはいけないと言われた。エルダー雇用について、11月退職の無所属の方が昨年より直轄エルダーで残るといわれたが、9月に会社から「直轄ではなく出向になる」といわれ落胆し退職することになった。会社は希望を何回も聞いていたのにこのような発令は許せないと挨拶が有りました。



渡辺副委員長挨拶

①自然災害が多い年で、国労組合員も被害にあっている。カンパの取組や水戸地本には緊急物資を送った。9月20日に台風15号時の勤務・被害について会社に申し入れをした。②一時金について10月18日に3.6ヶ月の要求提出し3回交渉を行った。過去最高の収益ということもあり昨年以上の要求を求めている。会社からは「公共性のある会社であり突出感を出せない」ということで3.18ヶ月の回答。収益が少ないときは下げられるが多くなっても上がらない。貨物は1.6ヶ月+0.21の定額回答であった。本部は貨物会社に対し抗議行動指令を出した③昨年以降東労組大量脱退があり、10月1日現在社員は51400人、来年は4万人台になる。組合数は11組合あり東労組9743人18%（2017年43641人77%）新鉄労・新潟新鉄労・高崎地本中心に脱退しひがし労組を結成約350人、ひがし労組は東労組の講師を呼んでいる。裏では繋がっている。東労組水戸では不当労働行為を都労委へ提訴。④職場代表者

選挙本体で11グループ会社16事業所で代表をとった。本体650中150事業所で選挙を行い組合員数より多い投票を得ている。⑤変革2027が出され乗務員関係は7本・車両は3本の合理化施策提案を受けた。会社は東労組大量脱退以降乗務員への揺さぶりをかけている。設備系はJR発足当時16300人いたが現在6460人約9840人減少され2015年の超勤をみると300人位足りない。要員がいないので変革2027で仕事を減らしているが鉄道はA1では対応できない。電気関係はトラブルが多く起きているので検証が必要。鉄道には人の技術が必要。⑥組織拡大昨年18名。11月神奈川2名拡大社員代表選挙は組合の考え方について訴えることができる。組織強化拡大をしてほしい。

質問①台風15号で罹災休暇をもらおうとしたところ住んでいなければいけない東日本大震災は例外といわれた。15号は自宅待機、19号の時は前日必ず出勤すると言われている。回答・会社に対し罹災休暇について杓子行儀にやらず柔軟な対応を求めている。乗務員職場では台風15号は待機、19号はタクシー利用が可能になり現場長が判断できるところになった。現場長による判断が

違う。長野では社員の水が水没した。水戸支社では補償している。本社は水戸・仙台・長野支社に対し指示を出している。補償額についてはわからないが高めるよう要求していく。②社員代表について来年4月に新幹線が分離する。事業所の単位は？高崎は新潟長野も含めるのか？4月になったら知らない人で選挙する。東日本として対応してほしい。労基署はどこになるのか？旅費がなくなることにしているのか？回答・社員代表は事業所単位でやると思う。会社を詰めてほしい。旅費については回交を開催している。旅費を廃止し過去3年分(個人)を調査し来年夏に3年分支払う。③変革2022が実施され、回交時はわからなかった実態がある。本社に言うてほしい。回答・本社が言っていることと現場で乖離があればエリアに報告してほしい。改善要求回交はやってほしいと思う。

大角議長挨拶

①昨年「電気部門の変革2022」が1月に提案され、在来線、新幹線、エネルギー管理の三つに分けて交渉を進めてきた。解明交渉では委託メセとの業務や管理区分、障害時の対応や指揮命令系統、在幹の設備区分、新幹線新体制の業務区分、総合技術者教育、要員に関する

問題など議論し、要求では業務の円滑な推進、適切な要員配置、業務移管に関する教育、社員運用について議論をしてきたが、どれも明確な回答や資料が得られず支社での回答となってしまった。2月頃から地方交渉が始まり、在来線関係は業務区分、業務フローなどの資料出るなど明らかになってきたが、新幹線関係は2020年4月実施という事もあり業務や設備の区分について具体的な資料は出ていない。在来線関係は4月から実施がされ会社が進める技術革新は未完成でほぼ実施がなく、体制見直しは変更を優先させ現場が追いついていない状況で問題が多く発生している。こうした状況に対して籠原事故の様な会社施策の不備から起きた事故を二度と起こさないよう、施策の点検を確実に引き会社が表示した未実施事項や問題点を明らかにして改善交渉や要求交渉に繋げていきたい。②4月に国土交通省から警告文章が出され、5月の本社安全経営協議会で鉄道事故について一年間で155件発生し、昨年よりの5件マイナスで列車事故が3年連続ゼロ件で発足から左下がりだったが、近年は下げ止まりの傾向にあると報告がされた。しかしグループ会社を含めた死亡災害も残念ながら発生している実態や現場では新潟発電所火

災に見られるように「繰り返し発生している事象」が増加傾向にあり、これはメソテ合理化施策が起因している。今後の技術継承がままならない現状では信通で錯誤、電力では感電と人為的な被害が出る事が予測され、そうならないように会社に技術者育成をするよう真剣に求めて行く必要がある。職場にはものを言えない、言わない労働者があふれていきます。私たちが、安全で安心して働ける職場になるよう奮闘していきます。またエルダー雇用では説明会で前年度の11月頃には雇用先の通知を行うようになっていくが、退職期限が迫るが決まらない状況や第三希望まで取りながら選択肢が無い実態など、会社の幹旋態度が悪い状況となっている。年金受給の繰り上げにより、高齢者雇用安定法で会社は継続雇用制度を選択した。会社には雇用をする義務が有るにも関わらず、こうした会社の態度について、上部機関と連携して制度をきちんと守らせる取組やエルダー制度の改善を求めます。③組織拡大について、昨年の大会以降、東日本・貨物・関連会社含め18名が加入した。しかし組合不要論を進める会社の対応は凄まじく、未加入者は3万6千人を超え、親睦団体・社友会は2万人を超えたと言われている。また社友会加入者に対しても

上層部との懇親会開催など、会社が社員の為とした囲みが増えつつある。その反面、旅費の廃止やワンマン運転、委託駅の拡大と労働条件は急激に低下を求めている。そうした中で、社員代表選挙では150もの事業所で国労組合員が立候補をし、昨年より過半数代表者職場は増加し組合員数以上の票を獲得もってきている。未加入のほとんどは社員代表選挙が単に超勤が出来るようにする為といった風潮がある中で、国労に投票する人は国労に期待していると思います。36条締結の目的を具体的にする。いま若手と抱える悩み、不安、職場の問題を一緒に考え代表選挙の公約に入れ、若手を職場改善運動に巻き込み、組合は職場で働く人が自らの手で作られ、決して会社が宣伝するような集団ではない事や働く人に意義のある結果をもたらしてきた事を実感させる事が重要だと思う。組織拡大が言葉で言うほど簡単でない事を実感していると思うが、いま加入に結びつかなくとも組織拡大の芽に繋がると信じて、どんな小さなことからでも行動をする必要がある、互いの取組に学び励まし合い組織拡大行動を展開していき、職協としても組織拡大に向け、最大限の努力をしていきます。



菊島全国電協事務局長挨拶

4月に全国連絡会総会を開催、毎年のように触車・感電事故が起きている。西日本では全面外注の提案はない。感電事故が起きている。事故対策が多く若手は無理と言っている。技術力が下がっている。九州では4月に触車事故が発生している。検電接地作業で見張りの員が施設側で、打ち合わせができていない為おきた事故である。考えられない事故が起きている。日々の作業が多く技術継承はできない。東海では地絡事故がおきている。過去の事故が風化している。四国では要員がいなく技術継承がうまくいっていない。若い人は安全意識が薄い。東日本は変革2022が提案実施されている。職場代表選挙が行われている。西日本以外はほとんど外注化、国鉄採用も新しい設備にはついていけないが安全は大切に

各地代議員からの発言

してきた。全国電協は毎年開催し2年に1度総会を開催している。

【秋田】

秋田MCは3MCが1つにされ22名から13名になり合計9名減った。緊急点検にTEMは行かないので直轄で対応している。工事立会も3MC分行うので仕事量が多く夜勤も多い。TEMは2・3人位増員になった。管理MCでは線間・保車などのFAXが多く紙がなくなる状況になっている。管理者含め今回の施策は失敗と言っている。列車添乗は直轄と言っていたが、台風の際はTEMも添乗した。平成採用者として4年後どうなるのか不安、こういう場若い人を連れてきてほしい。

【仙台】

この間の台風で被害にあった方が多くいる。今年加入した内海さんを連れてくる予定だったが家族が台風被害にあい来れなかった。白石MCでは車4台が水没した。通勤車4台で組合員3台管理者1台。分会・電協で話を聞き支社に問い合わせた。当初補償は難しいと言っていたが現場に来て車の状況を調査に来た。補償がされなければ車で来れなくなる。補償額はまだわからない。変革20

22でモニタリングが導入されていないのに提案されていることが不満だ。新幹線交渉は支社交渉でできたが、今後統括本部が窓口と言われている。仙台・盛岡新幹線問題・こちら側の構えはどうするのか。エルダー制度で本人説明が8月退職で8月にあった。本人にとっては死活問題、会社側からどこも無いと言われたら困る。エルダーでは超勤してもしくてももらえる額は一緒に制度上の問題がある。9・10月半ばは超勤がなくてよかったが台風でポイント交換が増え超勤・夜勤が増えたがもらえる額は変わらない。モニター通勤がなくなり定期券になったため金が違う。

職場の声を聞かない

【盛岡】

電力では本務エルダーが6名いる。通信はいないので地本に相談した。北上MCでは11月に退職する方が本務エルダーになるようだ。エルダー採用について1ヶ月前に言われたのでは生活設計ができない。安心して次に行けるようにしてほしい。変革2022回交でTEMは余力があるので大丈夫と言っていたが緊急時には人がいないので直轄で対応させられている。新幹線教育信通では60歳なる人は行っていないが電力

では61歳の本務エルダーの方もやっている。同じ支社内で考え方が違う。配電所の財産区分について在幹分離プロジェクトができ毎月やっているがまだ決まっていない。来年度の検修数量も変わるの問題。移管MC10名でやっていただくのを6名でやっているので仕事量が多い。管理者は増員されたが一般は増えていない。技術継承もできていない。

【八王子】

台風で土砂崩壊があり高尾以西が単線運転になった。通勤ができず3日間他の職場へ通勤になった。若手は課題が多く本来業務以外で疲れている。社員代表が転動になり選挙があり25票獲得し組合員より多く支持があった。試験では社友会は受かり組合員は落とされた。電車線モニタリングで若手を使い八王子訓練設備でデータを集めている。設計業務の簡素化はP社に対し工事計画がどこまで伝わっているのか、保全しやすい設備になっているか不安である。電線交差箇所断線事故で、施工時のチェックが行われていない、保全巡回も線路外から検査している。五日市線では吊架線断線がありP社と打ち合わせで疑問をもつことが出来なかったことも原因。単契について社員に説明が十分行われていない。電力軌陸車を運転するには中型が必

要、限定解除取得を会社は受けさせているが、AT限定の人は時間・費用を個人で負担しているのは問題。地区本部へ要求している。

【水戸】

通信5名中3名が設計で慢性的に出勤が多い。台風で通信では勤務が0時から8時半だったが実際帰れたのが24時で問題。電力モニタリング導入時期がわからない。女性社員の産休で増員がない。電力は45%東労組、職場の雰囲気が悪く3名が若年退職している。土浦MCではポテンシャル社員が配属になっているが何も分からなくても指導職試験に受かっている。超勤をする人が多い。

【千葉】

ポンドモニタリング東金線で導入・ロック検力メラ・制御子モニタリング・現示モニタリングが導入予定。認定制度拡大で電子踏切の同種交換は行っている。設備系12月から事務合理化がある。職場から事務がいなくなる。小口現金は設備事務センターに取りに行くよう言われている。MCでキーDと諸元のつき合わせが大変である。検査しないものも検査するようになった。キーDが技せからMCになり調査しに行かなくてはならない。台風でP社は工事がまわらない。職場代表選昨年まではW

EBで今年は紙でおこなった。組合間で話し合い1名出して開票にも立ち会った。今年からフコ探でもMCに配属があり要員なっていて監督者・見張りも行っている。



労働条件の改善と対話

【長野】

松本電力MCと信濃大町MCが統合。駅に年2回絶縁保護員耐圧試験を移管MC分も含め行い忙しい。移管MC分はTEMSで対応してほしい。年2回営業社員に教育を各MCが対応しているがかなりの回数があり人工がかかる。駅の人が飛来物を取った実績は無い。障害で大きなものは合同、軽微なものはTEMS対応。TEMSが独自判断でやったことへの支払は出来ないJRからの指示が必要。工事費が削減されている。施策により修繕費が減るのはおかし。予定

していた工事ができないものは直轄で対応させられている。列車巡視について移管MC分も直轄対応させられ、特急だと1時間だが保線が乗っていると狭いので乗れず普通列車になり2時間掛かりきつい。休憩時間も変更になりデポでとるようになる。国労主催でシクを開催して組織拡大のため声をかけている。



【高崎】

管理MCが1箇所でき、一般3名管理者1名増えた。2MC分の保安打ち合わせ・線閉が増えた。保安打ち合わせメールでスタンプを押すようになった。若手は中身がわかっていなく心配で、返信漏れもある。障害TEMS対応だが、出来ないところは管理メセで対応して

いる。移管されたMCを管理MCで見ているがOK以上に広がったので旅費が増えた。桐生・渋川TEMSへJRから出向があり、各SOCへ一般2名管理者1名が出された。電力でも高崎SAへ2名出向。休日夜勤務が9月は5回あり問題である。TEMS所長と話をして10・11月は無く改善させた。休んだ気がしない。架線事故・踏切事故などはJRでも出動している。計画運休時、自己判断で新幹線通勤しても特急代が支払われないと言われていたが所長判断で支払われた。

【新潟】

現在踏切バックアップ調査を行っているが、毎年設備調査があるため要員が足りない。地方回交でも要求しているが会社からは足りているといわれる。制御子調査1パーティーで行っているが、出来ないため技せからも来てもらっている。品川の線路切り替えにも多くの人が行っている。最後は人が必要。変革2022は秋田と同様の問題がある。保線で国労組合員が助役発令された。新津MCは4月まで移管が伸びた。

意見を言える
職場にしよう

【議長集約】

八王子からでた軌陸車問題は本社に挙げていきたい。エルダー問題、発令が遅すぎ生活設計に係るのでエリアに要請していく。組織拡大機会があることに若手を集めていきたい。変革2022の調査票を出している。11月末までに在来線の要求を出し、1月頃交渉を入れたい。新幹線窓口も見えないが、総合技術者教育が本場にうまくいくのか。1月までに幹線要求もまとめ提出したい。



在来線要求

1. 移管メセが計画と違い設置されていない箇所があるが原因を説明し、今後どのような改善を図るのか明らかにされたい。(盛岡・北上)
2. 管理メセに定常監視装置が無く障害児の把握が出来ない状況が続いているが、本社説明と実態がちがう。定常監視装置が配備される具体的な時期を示されたい。
3. 指令が移管メセの体制を理解しておら

ず、障害時管理メセに対応を求めてきている。今施策において出されている障害対応フロー通り指令に指導をするのと。

4. 管理メセにおいて、保安打合せ業務や線閉・停電入力業務量が増大し通常業務に支障を及ぼす状況にある。早急に業務量に見合う要員の見直しを図りたい。
5. 設備管理システムで、移管された名称変更等のシステム改修について滞っている。改修について早期実施するとともにスケジュールを示されたい。
6. 設備保守区分の明確化について、施策実施時期に合わせ開示するとされているが、電気設備について保守区分(在幹)が明確にされていない。早急に保守区分を書面で提示されたい。
7. 移管メセにおいて、TEMS従来業務に加え移管メセ設備の保全業務が行われることにより膨大な業務量になっている。業務量に見合った要員数の配置と夜間作業の回数を減らすこと。

2019年度

電気協議会役員

議長	大角 浩【八王子】
副議長	堀切 彰【仙台】
副議長	井上美信【東京】
事務長	加藤英樹【東京】
各分科長	

新幹線強電分科	小林芳弘【高崎】
新幹線弱電分科	菅原清志【盛岡】
電車線分科	後藤寿昭【八王子】
新幹線分科	菅原清志【盛岡】
信号分科	佐藤光昭【東京】
通信分科	加藤英樹【東京】
変電分科	森田 勝【八王子】
配電分科	今野弘樹【千葉】
会計監査	岡部貴一【東京】
	菊島高徳【神奈川】

※今回、新幹線組織変更に対応するために新幹線強電分科と弱電分科を新たに追加しました。要求集約や交渉要員についても小林芳弘氏と菅原清志氏に対応をして頂くことになっております。宜しくお願致します。

第32回交流会

来年の交流会受け入れ地電協は仙台地電協となります。

開催日 2020年
6月14日～15日
場所 松島 ホテル大観荘

※交流会基金が未納になっている地方は次回の役員地方代表者会議にて徴収しますので、宜しくお願致します。

各地電協定期委員会予定

水戸地電協定期委員会	12月14日(土)
東京地電協拡大委員会	12月14日(土)
高崎地電協定期委員会	12月14日(土)
盛岡地電協定期委員会	2月15日(土)